

市長公約に掲げる3本の柱に沿ったまちづくり

積極的な産業振興策による
活力あるまちづくり市民目線に立ったきめ細かな施策による
住みやすいまちづくり強固な行財政基盤確立による
自立したまちづくり

現状：住民の皆さんから、「将来、地域の活力がなくなっていくことに対し
漠然とした不安を抱いている」という声をよく聞く

将来に対する不安を払しょくし、物・心ともに豊かさを実感できるまちづくり
市民の皆さんに元気になってもらう(市に訪れる観光客も)
高山市の貿易収支を黒字にする(自給自足(自立)できるまち)
⇒市民(地域、事業者、団体など)みんなでまちづくりを

まちづくりの3つの視点

環 境

産業(景気)

文 化

3つの視点を一体的、相互連携しながら推進することで持続可能なまちづくりが可能

産業・・・生きていくための糧を得る上で欠かせない視点
(観光・商工業・農林畜産業振興など)

環境・・・本市が有する豊かな自然と共生する上で欠かせない視点
(自然保護、自然・エネルギー活用など)

文化・・・生きがいと誇りを持ち、心豊かに生活していく上で欠かせない視点
(高山らしさの保存・継承、新しい文化の創造など)

経営戦略立案に係る有識者会議 検討テーマ

全体テーマ 地域資源※を活用した持続可能な産業・経済の確立

テーマ1 観光戦略

テーマ2 産業戦略

※地域資源：自然、エネルギー、文化・伝統、風土、景観など市の有する様々な資源を指す

※検討にあたり根底にあるもの

教育、福祉などの充実が豊かな地域社会を創生し、その力が魅力ある高山市に育っていく。即ち、根源は人間(人づくり)である。